

【別紙】

海外留学研修計画書

※本様式は、山梨県地場産業人材育成促進事業費補助金（匠の翼奨学金事業）における書類審査のための資料として提出を求めるものです。

山梨県地場産業人材育成促進事業費補助金交付申請書（第1号様式）の補足資料として使用してください。

1 海外留学研修の概要

（1）研修内容の概要（300～500字程度）

2 修学目的・背景（重要）

（1）本研修を希望する背景（400～600字）

（2）なぜこの国・この機関なのか（400～600字）

3 修得を目指す専門的知識・技術

（1）修得予定の内容（具体）（400～600字）

（2）地場産業との関係

4 修学の実現性

(1) 受入・選考状況

(2) 申請者本人の能力・経験 (300～500 字)

5 修了後の展望

(1) 修了後 3 年間の進路計画 (400～600 字)

(2) 地場産業への波及効果 (400～600 字)

6 補助金申請額の考え方 (200～300 字)

7 自己評価・補足事項 (任意)

海外留学研修計画書

※本様式は、山梨県地場産業人材育成促進事業費補助金（匠の翼奨学金事業）における書類審査のための資料として提出を求めるものです。

山梨県地場産業人材育成促進事業費補助金交付申請書（第1号様式）の補足資料として使用してください。

1 海外留学研修の概要

（1）研修内容の概要（300～500字程度）

本研修では、宝飾品のデザインから原型制作、仕上げ工程まで一貫したカリキュラムを受講する。特に、欧州市場で評価されている色石使いや立体的造形技法について、実習を中心に学ぶ。加えて、製品開発と並行してブランドストーリーの構築や展示会向けの商品構成についても学修する。

2 修学目的・背景（重要）

（1）本研修を希望する背景（400～600字）

現在所属する事業所では、国内市場向け製品の製作が中心であり、海外市場を意識したデザイン・商品開発のノウハウが不足している。山梨のジュエリー産業においても、技術力は高い一方で、国際市場に通用する表現力や付加価値の創出が課題であると感じている。こうした背景から、世界的な宝飾の集積地であるイタリアにおいて、実践的な研修を受ける必要性を感じ、本研修を希望した。

（2）なぜこの国・この機関なのか（400～600字）

イタリアはデザイン性と職人技を融合させた宝飾文化が根付いており、特に当該研修機関は実務的な教育に定評がある。単なる座学ではなく、現地職人やデザイナーと協働するカリキュラムである点が、国内研修では代替できない要素である。また、将来的な国際取引や展示会出展を見据え、人脈形成の観点からも本研修機関が最適であると判断した。

3 修得を目指す専門的知識・技術

（1）修得予定の内容（具体）（400～600字）

宝飾デザインにおける立体構成技法、色石の組み合わせによる表現手法、欧州市場で求められる品質基準を修得する。また、CADと手作業を組み合わせた原型制作技術を習得し、国内製造工程への応用を目指す。

(2) 地場産業との関係

修得した技術は、自社製品の付加価値化に活用するほか、産地内事業者との共同開発や勉強会を通じて、山梨ジュエリー全体の競争力向上に寄与する。

4 修学の実現性

(1) 受入・選考状況

書類選考通過済み。現在、最終面接結果待ち。

(2) 申請者本人の能力・経験 (300~500 字)

現在までに宝飾加工の実務経験が5年あり、国内展示会向け製品の設計・製作に従事してきた。業務を通じて基礎的な英語でのコミュニケーション経験も有している。

5 修了後の展望

(1) 修了後3年間の進路計画 (400~600 字)

研修修了後は現所属事業所に復職し、新商品開発部門を中心に業務に従事する予定である。海外市場向けの商品開発を担当し、展示会展覧や取引拡大に携わることで、県内地場産業における雇用維持・拡大に貢献したい。

(2) 地場産業への波及効果 (400~600 字)

復職後1年以内に復命研修を実施し、研修内容を産地内事業者に共有する。あわせて、業界団体等と連携し、若手技術者向けの勉強会を開催することで、産地全体の技術力・デザイン力向上に寄与する。

6 補助金申請額の考え方 (200~300 字)

申請額は、研修受講料、渡航費、滞在費等、研修実施に最低限必要な経費を積算したものである。現地研修を円滑に行う上で不可欠な経費であり、内容・金額ともに妥当と考えている。

7 自己評価・補足事項 (任意)

本事業を通じて修得した知識・技術を、個人の成長に留めず、産地全体に還元することを強く意識している。